

このたびは、エディタソフト VoiceNavi Editor をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本ソフトウェアの優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにもこの取扱説明書をよくお読み下さい。

目次

1.	概要	2
2.	特長	2
3.	動作環境	2
4.	適用メモ리카ード	2
5.	適用音声データ(WAVE ファイル)	3
6.	ソフトウェアの入手	3
7.	インストール	4
8.	ソフトの初回起動 (使用許諾契約書・ユーザー情報登録)	4
9.	ユーザー登録と KEY CODE 配布	4
10.	KEY CODE 入力	5
11.	操作手順	7
12.	エディタ画面	7
13.	詳細設定画面	8
14.	音声データ(WAVE ファイル)の用意	9
15.	音声データ(WAVEファイル)の登録	9
16.	エディット(アドレス登録・プログラム登録)	10
17.	カードデータ作成	12
18.	カードデータを Flash カードへコピー	13
19.	印刷	14
20.	ツール (16Bit→8Bit 変換/ステレオ→モノ変換/無音 WAVE データ作成)	14
21.	音声データの追加・変更	14
22.	音声データのアドレスの変更・プログラム登録内容の変更	15
23.	モード Z (1000CH 版)の場合	15

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

info@voicenavi.co.jp

www.voicenavi.co.jp

1. 概要

本エディタソフトは、Windows パソコン上で WAV(ウェーブ)・WRX(ダブルアールエックス)シリーズのカードデータを作成するソフトウェアです。

WAV・WRX シリーズのアドレス(接点端子)に再生したい WAVE ファイルの登録します。その際、1 アドレス(接点端子)に最大 8WAVE ファイルの組立再生、最大 5 回までのリピート回数などのプログラム登録ができます。作成したカードデータは市販のカードアダプタ経由で Flash カード(CF カードや SM カード)にコピーして使用します。

2. 特長

■WAV/WRX シリーズ対応

WAV シリーズ用・WRX シリーズ用のカードデータを作成できます。

■1000CH 版対応

WAV/WRX シリーズ 1000CH 版用のカードデータを作成できます。

■複数の WAVE ファイル収納フォルダ切替対応

複数の WAVE ファイル収納フォルダを切り替えて、WAVE ファイルを登録できます。

■プログラム登録

1 アドレス(接点端子)に最大 8 ファイルの組立再生、5 回までのリピート回数を登録できます。

■レポート作成機能

WAVE ファイル登録情報・プログラム再生登録情報等印刷出力できます。

■ファイルコンバート機能

フォルダ単位でステレオ⇒モノラル 16Bit⇒8Bit のファイルコンバートや時間指定で無音の WAVE ファイルを作成できます。

3. 動作環境

パソコン	下記 OS 搭載に Windows マシン Windows XP/2000	
メモリ	256MB 以上	
ハードディスク	1GB 以上の空き容量 (別途、WAVE ファイル用の空き容量は必要)	
適用カードアダプタ	市販の USB 接続タイプまたは PC カードタイプのカードアダプタ	
	適用カード	使用機種
	SM カード	WAV100B/200B/250B/300B シリーズ WAV2000/3000 シリーズ
	CF カード	WAV500 シリーズ WRX600B シリーズ WRX700 シリーズ WRX6000 シリーズ WRX7000 シリーズ

4. 適用メモ리카ード

適用カード	使用機種	カード要領	フォーマット
SM カード	WAV100B/200B/250B/300B シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	機種による 32/64/128MB	●「FAT」フォーマット (注) デジカメのフォーマット不可
CF カード	WAV500 シリーズ WRX600B シリーズ WRX700 シリーズ WRX6000 シリーズ WRX7000 シリーズ	32/64/128/256MB (注) 1GB 一部の機種 (1000CH 版)	●「FAT」フォーマット (注) FAT16,NTFS フォーマット不可

5. 適用音声データ(WAVE ファイル)

WindowsOS の標準サウンドファイル WAVE(ウェーブまたはワブ)ファイルを使用できます。

【登録可能サンプリングモード】 (注) ステレオデータは使用できません。

シリーズ	登録可能サンプリングモード	備考欄
WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	44.1KHz 8Bit Mono 22.05KHz 8Bit Mono 11.025KHz 8Bit Mono	16/32KHz 8Bit Mono 可
WAV500 シリーズ	44.1KHz 16/8Bit Mono 22.05KHz 16/8Bit Mono	16/32KHz 16/8Bit Mono 可
WRX6000/600 シリーズ	44.1KHz 16/8Bit Mono 22.05KHz 16/8Bit Mono	
WRX7000/700 シリーズ	44.1KHz 16/8Bit Mono 22.05KHz 16/8Bit Mono	

【1 ファイル容量制限】

シリーズ	1 ファイル容量制限	備考欄
WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	16MB 未満	44.1KHz 8Bit Mono 5.6 分 max.
WAV500 シリーズ	使用するカード容量内	
WRX6000/600 シリーズ	使用するカード容量内	
WRX7000/700 シリーズ	使用するカード容量内	

【適用ファイル形式】 (注) 日本語、ロングネームのファイルは使用できません

8.3 形式	アルファベット英数字 8 文字表示 [例]1234568.wav 111_123.wav aaaaa123.wav abc_001.wav
--------	---

注意	1. ロングネームのファイル名はご使用できません。 2. -, (), {} など Windows 上のファイル名の禁止文字は使用できません。
----	--

【認識できない、使用できない WAVE ファイル】

	現象・原因	対策
ファイル名またはファイル名の一部に日本語が使用されている場合	英数字のように見えるが、全角数字などが使用されているファイル	ファイル名を半角英数字にする
ファイル名が 8 文字以上の場合	WAV/WRX シリーズでは日本語、ロングネームのファイル名に対応していません。	8 文字以内にする
ヤマハなど一部の録音編集ソフトで作成した WAVE ファイル	一部の録音編集ソフトでは WindowsOS の WAVE ファイルに準拠しないヘッダ一部のファイルを使用していない	WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」で読み込み、再保存する。
拡張子は.wav だが、実際の拡張子は違う	Media Player の場合、ほとんどのサウンドデータ(この場合、真実の拡張子)を再生する。但し、WAVE ファイルではない。	または、「Sound It」などの録音編集ソフトでファイルコンバートする

6. ソフトウェアの入手

当社のホームページ <http://www.voicenavi.co.jp> のサポートページからダウンロードします。

フル機能版として使用する場合、KEY CODE が必要ですので、オンラインユーザー登録して KEY CODE を事前に配布を受けることを勧めます。 <参照> 9. ユーザー登録と KEY CODE 配布



インターネット環境がない場合は CD-ROM 版をご購入下さい。

パック版(CD-ROM+カードアダプタ)も用意しています。

7. インストール

ダウンロードした場合、解凍後、下記の手順でインストールします。

【インストールの権限者】 下記の権限者がインストールしてください。他のアカウントではインストールできません。

Windows XP	コンピュータの管理者
Windows 2000	アドミニストレータ

■インストール



インストール権限者がインストールしてください。他のアカウントではインストールできません。

パソコン上の他のプログラムを全て終了します。
「Setup」プログラムをクリックしてください。



左記の画面が表示されます。

【ディレクトリを変更する場合】

ディレクトリ変更ボタンでインストール先を変更して下さい。

| Program Files | VoiceNavi Assit | VoiceNavi Editor | 内にインストールします。
また | スタート | プログラム | メニュー内にアイコンを作成します。



【収納・作成ファイル】

VoiceNavi Editor.exe-実行ソフト

CardData フォルダ—カードデータファイル収納先

Temp フォルダ—一時データ保存場所

旧バージョンをインストール済みの場合	VoiceNavi Editor 2J をインストールしても上書きしません。 Program Files 内に新しいフォルダを作成して、インストールします。 旧バージョン内の CardData 内のカードデータを設定して、カードデータファイルの読み込み、WAVE ファイルの新規登録に使用できます。
旧バージョンをアンインストールする前に	アンインストール前に Program Files 旧 VoiceNavi Editor Card Data 内のカードデータフォルダをマイドキュメントや DVD などへ退避させて下さい。
旧バージョンとのカードデータの互換性	VoiceNavi Editor1J (VoiceMaker3 Verion3 version4 含) のカードデータはそのままご使用できます。 VoiceMaker3 Vesion1 version2 で作成したカードデータはそのままでは使用できません。 WAVE ファイルを再登録し、カードデータを作り直してご使用下さい。

■アンインストール

| スタート | 設定 | コントロールパネル | プログラムの追加・削除 | 本ソフトを指定し、削除して下さい。

(注)CardData などはバックアップ後、別に削除して下さい。

8. ソフトの初回起動 (使用許諾契約書・ユーザー情報登録)

初回の起動時(スタート | プログラム | VoiceNavi Editor)に、「使用許諾契約書の同意」、「ユーザー情報設定」の画面が表示されます。

同意の上、ユーザー情報を入力します。

(注) ユーザー情報は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj 内に記録されます。

■使用許諾契約



VoiceNavi Editor 並びに作成したカードデータは使用許諾契約書の適用を受けます。

(

■ユーザー登録情報



ユーザー情報登録画面が表示されます。

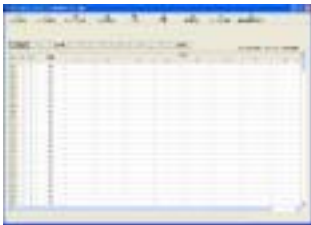
入力項目を正しくご記入ください。

(注)

本登録事項は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj に記録されます。

終了ボタン ON で下記のメニュー画面を表示します。

■エディタ画面



スタート | プログラム | VoiceNavi | VoiceNavi Editor |

または | Program files | VoiceNavi | VoiceNavi Editor | 内の実行ソフトをクリックします。

左記の初期画面(エディット画面)が起動します。

9. ユーザー登録と KEY CODE 配布

KEY CODE 入力しないとフル機能が使用できません。

オンラインユーザー登録後、E-mail で KEY CODE を送付します。

【配布日】(平日の場合) 当日または翌日 (土日祝日の場合) 月曜日または祝日明け

【インターネット環境のない場合】

FAX 026-268-3105 で登録して下さい。

(記載事項) 製品型式 VoiceNavi Editor 機能限定版 会社名、氏名、住所、TEL

■KEY CODE 配布希望の場合



弊社ホームページ

www.voicenavi.co.jp|サポート | ユーザー登録 | KEY CODE | のユーザー登録を行って下さい。

(注) 下記事項を必ず、記入して下さい。

製品型式 VoiceNavi Editor 機能限定版 会社名、氏名、住所、TEL、E-mail

10. KEY CODE 入力

使用する機種に対応する KEY CODE を入力します。

(注)通常版(255CH 版)と 1000CH 版では作成されるカードデータ内容・カードデータのコピー方法が異なります。

	適用機種	備考欄
通常版 (255CH 版)	WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ WAV500 シリーズ WRX6000/600 シリーズ WRX7000/700 シリーズ (注)1000CH 版を除く 順次新機種を発売する計画です。	下記対象者に配布します 左記購入者 購入予定者 評価希望者
1000CH 版	WRX6000-K (1000CH 版 1GB カード対応) (注)順次、1000CH を発売する計画です。	左記商品購入者・購入予定者のみ KEY CODE を配布します。

【通常版の場合】

■KEY CODE 入力



| エディタ画面 | 詳細設定 | KEY CODE | で KEY CODE を入力します。

【通常版】KEY CODE を入力します。

1J 所有者

1J 版と同一 KEY CODE です。

忘れた方は、再度ユーザー登録してください。

【機能制限】

- ・合計 32MB 以上の WAVE ファイルは登録できません。
- ・ファイルコンバート機能が使用できません。



1000CH 版以外はこの状態で使用できます。

【KEY CODE と機能制限】

ダウンロード版・CD-ROM 版は共に、出荷時は「機能限定版」になっております。

KEY CODE を入力することより、「フル機能版」になります。

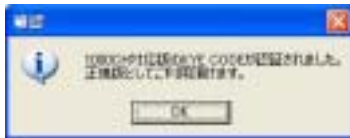
KEY CODE は弊社ホームページ www.voicenavi.co.jp|サポート | ユーザー登録後、E-mail 送付します。

。【機能制限】

- ・WAVE ファイル登録画面で合計 32MB 以上の WAVE ファイルは登録できません。
- ・ファイルコンバート機能が使用できません。

【1000 CH 版の場合】

■KEY CODE 入力



| エディタ画面 | 詳細設定 | KEY CODE | で KEY CODE を入力します。

通常版の KEY CODE を入力後、1000CH 版の KEY CODE を入力します。

11. 操作手順

新規にカードデータ作成は下記の手順で行います。

No.	項目	作業内容
1	音声データ(WAVE ファイル)の用意	音声データ(WAVE ファイル)は、適当な名前を付けたフォルダ内に収納しておきます。
2	フォルダ設定	詳細設定 フォルダ設定 で上記フォルダを指定します。 この際、下記の変更ができます。 ■作成するカードデータファイル名 [デフォルト]sample.wpj ■作成したカードデータの収納先 [デフォルト] C:\ProgramFiles\VoiceNaviAssist\VoiceNaviEditor\CardData
3	モード設定	使用する製品により、使用するモードを設定します。 詳細設定 モード設定
4	音声データ(WAVE ファイル)の登録	WAVE 登録 画面で使用したい音声データ(WAVE ファイル)を登録。 この際、試聴・全試聴で登録したい音声データ(WAVE ファイル)を確認できます。
5	アドレス登録・プログラム登録	エディタ画面で、アドレス(接点端子)に WAVE ファイルを登録します。 その際、組立再生・リピート回数再生などのプログラム登録ができます。
6	試聴・全試聴	試聴(アドレス単位)、全試聴(全アドレス)を行い、音声データ内容を確認します。
7	カードデータ作成	カードデータ作成 画面で、収納フォルダ名、カードデータファイル名、作成者などの作成情報を入力し、カードデータ作成
8	レポート出力	印刷 画面で必要に応じて、レポート出力します
8	カードデータのコピー	市販のカードアダプタ経由で Flash カードへコピーします。

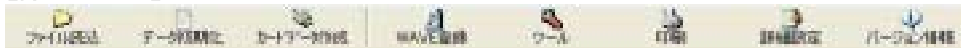
12. エディタ画面

【エディタ画面】



KEY CODE 入力後は、この画面が起動後の初期画面になります。

【操作ボタン1】



名称	内容
ファイル読込	既存のカードデータファイルを読み込みます
データ初期化	エディタ画面内容、WAVE 登録情報、カードデータ作成情報などを初期化(オールクリア)します
カードデータ作成	カードデータファイル名、収納するフォルダ名、作成者情報など所定事項を入力して、カードデータを作成します
WAVE 登録	使用する音声データ(WAVE ファイル)を登録します。
ツール	16Bit→8Bit ステレオ→モノラル 無音の WAVE データ作成などの編集ツール
印刷	下記の情報を指定して A4 横用紙で印刷できます。 ・WAVE ファイル登録情報 ・エディタ(アドレス・プログラム)登録情報

	・カードデータ作成情報
詳細設定	下記の設定ができます ・フォルダ設定 ・モード設定 ・ユーザー情報 ・KEY CODE
バージョン情報	バージョン内容

13. 詳細設定画面

詳細設定ボタンを押し、下記の内容を設定します。

■フォルダ設定



[カードデータファイル名]
アルファベット英数字 8 文字
(注)カードデータ作成画面でも入力できます。

[カードデータ収納先パス]
| Program Files | VoiceNav Assist | CardData |

■モード設定



使用するシリーズ・機種により、サンプリングモード(サンプリング周波数、Bit 数)が異なります。

使用する機種により、モードを設定して下さい。

モード	適用シリーズ	適用カード
A	WAV シリーズ WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	SM カード (スマートメディア)
B	WAV500 シリーズ	CF カード
C	WRX シリーズ WRX6000/600 シリーズ WRX7000/700 シリーズ	CF カード
D	WAV 拡張シリーズ 特定ユーザー用	
Z	WRX シリーズ 1000CH 用 特定商品(1000CH 版)	CF カード

■ユーザー情報



登録したユーザー情報を表示します。

■KEY CODE



KEY CODE を入力します。

14. 音声データ(WAVE ファイル)の用意

音声データ(WAVE ファイル)ご用意下さい。
音声データ(WAVE ファイル)を適当な名称のフォルダに収納して下さい。

【登録可能な音声データ(WAVE ファイル)】

使用する再生ユニットなど機種により、サンプリングモード、容量などが異なります。

(参照) 5. 適用音声データ(WAVE ファイル)

■音声データ(WAVE ファイル)の用意



事前に使用する音声データ(WAVE ファイル)を1つ、または複数のフォルダにご用意下さい。

(注)

複数の WAVE ファイル収納フォルダを切替え、登録できます。

15. 音声データの登録 (WAVE 登録)

本 WAVE 登録画面で、使用する音声データ(WAVE ファイル)を登録します。
本画面で登録した音声データ(WAVE ファイル)はエディタ画面(アドレス・プログラム登録)上で何回でもご登録できます。

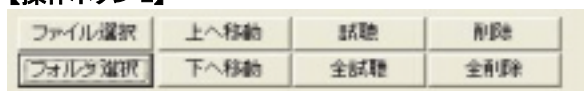
登録前に	詳細設定画面のモード設定で使用する機種・シリーズを設定して下さい。
ご注意	<ul style="list-style-type: none"> ・同一ファイルを重複して登録できません。 ・本画面では「空き No」はできません ・アドレス(接点端子)への登録は「エディタ画面」で登録します。

【WAVE 登録画面】



登録前に	詳細設定画面のモード設定で使用する機種・シリーズを設定して下さい。
------	-----------------------------------

【操作ボタン 2】



名称	内容
ファイル選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)単位で登録します。 [複数ファイル登録] SIFT+ Ctrl+など使用して複数ファイルを選択
フォルダ選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)を一括で登録できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
試聴	No.単位で試聴できます
全試聴	No.全てを順番に試聴できます
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
全削除	画面上の全音声データ情報を削除(オールクリア)します

16. エディット(アドレス登録・プログラム登録)

エディター画面で、WAV/WRX シリーズに対応したアドレス(接点端子)登録を行いません。
必要に応じて、組立再生、リピート回数のプログラム登録を行いません。
WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルを何回でもご使用できます。

【登録可能アドレス数】 255max. 1~255 (01~FFH)
(注)機種によっては使用できないアドレスがあります。

【プログラム登録】

組立再生	1 アドレス(接点端子)-8WAVEmax.
リピート回数	1 アドレス(接点端子)-5 回 max.

(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

【エディター画面】

名称	内容	メモ
No.	アドレス(接点端子)	後記記載の No.-アドレス対応表参照
SP	音声出力系統の設定	(注)出力系統の切替機能を有する機種
RP	リピート回数設定	最大 5 回までリピートできます (組立再生1-8全体)
VOICE 1-8	音声データ(WAVE ファイル)の登録	最大 8 データまで組立再生できます

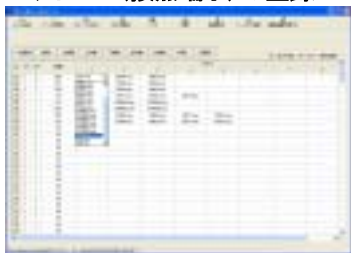
【操作ボタン】

一括登録	試聴	全試聴	上移動	下移動	左移動	右移動	削除	全削除
------	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----

名称	内容
一括登録	WAVE ファイル登録画面のデータをエディタ画面に一括登録します
試聴	No.単位(アドレス)で試聴できます
全試聴	No.単位(アドレス)全てを順番に試聴できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動

左移動	音声データ(WAVE ファイル)を左移動
右移動	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します その際、後に音声データがある場合、左移動します
全削除	エディタ画面上的全音声データ情報を削除(オールクリア)します 但し、WAVE 登録データやカード作成データなどはそのままです。

■アドレス(接点端子)の登録



本画面の No.は、WAV/WRX シリーズのアドレス(接点端子)に対応しています。

試聴ボタンで個別 No.毎に再生できます。
全試聴ボタンで全 No.を再生できます。
(注)プログラム登録内容も反映して再生します。



登録する No.のセルをマウスで指定し、WAVE ファイル選択画面から WAVE ファイルを選択・登録します。



リピート回数を設定します。

(注)リピート回数の最大値は、使用する製品によります。



音声出力システムを設定します。

(注)音声出力システムの切替機能は、使用する製品によります。

【No.と再生ボード・装置 WAV/WRX シリーズのアドレス・接点端子対応表】

VoiceNavi Editor 上 アドレス登録画面表示	WAV/WRX シリーズ	
	アドレス	接点端子
1	01H	SW1
2	02H	SW2
3	03H	SW3
4	04H	SW4
5	05H	SW5
6	06H	SW6
7	07H	SW7
8	08H	SW8
:	(以降機種による)	(以降機種による)
:	:	:
254	FEH	FEH
255	FFH	FEH

【テクニック】

接点端子、アドレスの飛び飛びの割付	本画面で登録します。 (例)SW1-A.wav SW2-無 SW3-無 SW4-B.wav
WAVE ファイルが同一で、プログラム再生登録が異なるカードデータの作成	前回のカードデータをファイル読み込みで読み込みます。 WAVE ファイルの移動、削除、追加します。 カードデータ作成画面で、ファイル名、フォルダ名を変更して新規にカードデータを作成します。
WAVE ファイルを数多く登録しておいて、再生するカードデータを作成	例えば、スマートメディアに収納できれば、255の WAVE ファイルを登録しておいて、プログラム再生登録で、再生内容を変更していくこともできます。 予備の WAVE ファイルも登録しておけます。

17. カードデータ作成

下記のカードデータ作成画面に所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンを押し、カードデータを作成します。

作成したカードデータ内容並びに保存先	Program Files VoiceNav Assist CardData 入力したフォルダ名 内にカードデータを作成します。 実際にはWAVEファイルの収納フォルダからWAVEファイルを複写し、カードデータファイル.wpjを作成します。
--------------------	---

■基本情報画面



必須入力	項目	内容
*	カードデータファイル名	8.3 形式 英数字 (注)-() [] 等不可
*	作成フォルダ名	全角 14 文字まで (注)このフォルダ名で CardData 内に作成されます。
*	使用機種	
	作成枚数	
*	使用カード容量	
	積算カード容量	

■作成情報画面



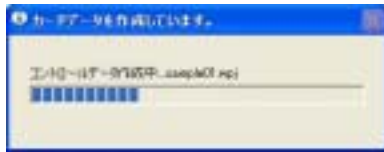
必須入力	項目	内容
	録音情報	録音会社、アナウンサー等入力
	WAVE 作成情報	作成者、編集ソフト等入力
*	カードデータ情報	作成者、作成日等入力

■記録媒体・コメント画面



必須入力	項目	内容
	記録媒体	名称等入力
	コメント	コメント入力

【作成ボタンを押すと】



18. カードデータを Flash カードへコピー

市販のアダプタを使用して、| Program Files | VoiceNav Assist | CardData | 入力したフォルダ名 | 内の下記ファイルを Flash カードにコピーします。

コピーするファイル	カードデータファイル .wpj WAVE ファイル .wav
-----------	-----------------------------------



| Program Files | VoiceNav Assist | VoiceNavi Editor | CardData | を開きます。

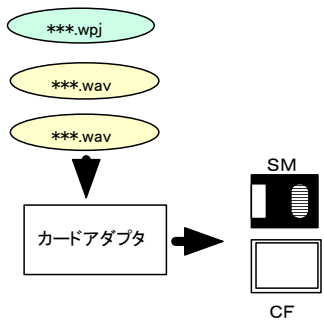
【テクニック】

Card Data のショートカットを作成し、マイドキュメント内かデスクトップ上に配置しておくと操作がやり易くなります。



| Program Files | VoiceNav Assist | VoiceNavi Editor | CardData || 入力したフォルダ名 | 内の作成したフォルダを開きます。

通常版の場合	フォルダ内の.wpj と.wav ファイルをコピーします
1000CH 版の場合	フォルダ毎、カードにコピーします。



カードデータファイル wpj と wav ファイルを市販のカードアダプタを使用して、Flash カードにコピーします。

ご注意	画面のコピー終了メッセージが出て、カードアダプタのアクセスランプが消灯しても、すぐにカードを抜かないで下さい。 約 2-3 秒後に抜いて下さい。
-----	---

19. 印刷

カードデータ作成後、印刷画面で各種情報を A4 横用紙で印刷できます。



印刷したい情報欄をチェックします

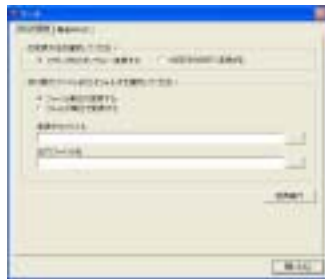
項目	内容
エディタ情報	エディタ画面
コントロールデータ作成情報	カードデータ作成
Voice 登録情報	WAVE 登録
ユーザー登録情報	ユーザー情報

使用しているプリンターの印刷画面で枚数を入力します。

20. ツール（16Bit→8Bit 変換/ステレオ→モノ変換/無音 WAVE データ作成）

16Bit データを 8Bit データに、ステレオデータをモノラルデータにフォルダ単位、ファイル単位でコンポートできます。また無音の WAVE ファイルを 1～59 秒、1～5 分の時間指定で作成できます。

■WAVE 変換



WAVE ファイル ステレオ→モノラルまたは 16Bit→8Bit にフォルダまたはファイル単位でファイルコンポートできます。

【コンバートのファイル名】

コンバート前	コンバート後
*****.wav	****_001.wav

(注)****の部分が一の場合、_001～附番

■無音 WAVE



無音の WAVE ファイルを作成できます。

21. 音声データの追加・変更

VoiceNavi Editor 上で手軽に音声データの追加・変更ができます。

追加または変更する WAVE ファイルをフォルダに用意します。Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。既存のカードデータをエディタ画面のファイル読み込みで読み込みます。

エディタ画面で追加・変更する音声データ(WAVE ファイル)を追加登録、プログラム登録します。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが、上書きします)

【音声データの変更のみの場合】

同一ファイル名の音声データ(WAVE ファイル)を用意して、Flash カードにコピーすればファイル上書きします。

なお、ファイル読み込みした場合、時間・容量などが一致しくなくなります。

22. 音声データのアドレス(接点端子)の変更・プログラム登録内容の変更

VoiceNavi Editor 上で手軽にアドレス変更やプログラム登録の変更ができます。

Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。カードデータをエディタ画面のファイル読み込みで読み込みます。画面上で、アドレス、プログラム内容を変更できます。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが上書きします)

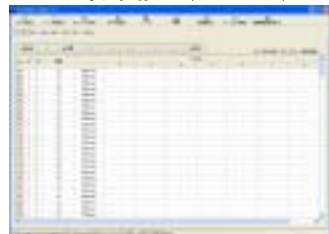
23. モード Z (1000 CH 版)の場合

Z モード(1000CH 版)は、1000 CH 版専用機種用のモードです。

KEY CODE	詳細設定 KEY CODE で 1000CH 版の KEY CODE を入力して、モード Z(1000CH 版)が使用できるようにして下さい。
----------	---

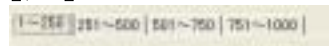
カードデータの コピー	通常版(255CH 版)と違い、フォルダ一毎、メモリカードへコピーして下さい。
----------------	---

■エディタ画面 (モード Z)



| 詳細設定 | KEY CODE | でモード Z(1000CH 版)を設定します。

【タブ】



タブを切り替えて、音声データ(WAVE ファイル)を登録します。

タブ	CH No.
1	1~250
2	251~500
3	501~750
4	751~1000

■カードデータを作成

製品(1000CH 版)はメモリカード内のカードデータフォルダを認識します。

カードデータフォルダ名	全角 16 文字以内
-------------	------------

■カードデータを Flash カードへコピー



TST1000

通常版(255CH 版)と違い、フォルダ一毎、メモリカードへコピーして下さい。

ご注意	1.フォルダ毎、メモリカードへコピーしてください 2.カードデータフォルダを 1 個以上コピーしないで下さい。 カードデータ認識ができません。
-----	---

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

info@voicenavi.co.jp

www.voicenavi.co.jp